

## 再評価結果（平成21年度 事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道379号 <small>いわや</small> 岩谷バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	愛媛県
起終点	自：愛媛県伊予郡砥部町岩谷 至：愛媛県伊予郡砥部町万年	延長	5.8km		
事業概要：一般国道379号は松山市を起点とし、伊予郡砥部町を經由し、喜多郡内子町で一般国道56号に接続する、延長約66kmの幹線道路である。岩谷バイパスは、幅員狭小、線形不良区間の解消のほか、地域生活圏の連携強化、物流の効率化、災害時の緊急輸送の確保を目的とした、延長5.8kmの事業である。					
H元年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H 2年度用地着手	H 5年度工事着手		
全体事業費	150億円	事業進捗率	78.4%	供用済延長	4.1km
計画交通量	2,300台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/ (事業全体)	総便益 (残事業)/ (事業全体)	基準年 平成20年	
	(残事業)	29/173 億円 事業費：28/172億円 維持管理費：0.25/0.87億円	31/96 億円 走行時間短縮便益：28/90億円 走行経費減少便益：2.0/5.7億円 交通事故減少便益：0.17/0.36億円		
感度分析の結果：残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.2 (交通量 +10%)    B/C=1.0 (交通量 -10%) 事業費変動：B/C=1.0 (事業費 +10%)    B/C=1.2 (事業費 -10%) 事業期間変動：B/C=1.0 (事業期間+10%)    B/C=1.1 (事業期間-10%)					
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（現道等に当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する） ・災害への備え（緊急輸送道路として位置づけあり） ・地球環境の保全（CO2排出量の削減） <span style="float: right;">その他14項目に該当</span>					
関係する地方公共団体等の意見 国道379・380号改良促進期成同盟会による事業促進の強い要望があるほか、地元も事業実施に協力的である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成17年1月1日に砥部町と広田村の合併により、新「砥部町」が誕生した。砥部町の本庁舎のある旧砥部町と旧広田村を結ぶ幹線道路として大きな役割を果たしている。また、事業区間は一次緊急輸送道路に指定されている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成19年度末の供用延長は、全延長5.8kmのうち4.1kmであり、現在はトンネル工事を施工中で、今後、橋梁及び改良工事を促進する。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収、改良工事等を推進し、平成20年代半ばの全線供用を目指す。					
施設の構造や工法の変更等 歩行者等の極めて少ないと推定される区間では、歩道無しの計画としコスト削減を図っている。					
対応方針	見直し継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらない。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

